

(公) 社団法人 日本技術士会 栃木県支部 発足披露祝賀会開催報告

日時：平成 24 年 5 月 12 日 (土) 17:00~19:30

場所：宇都宮ポートホテル、11 階

主催：(公) 社団法人 日本技術士会

1、はじめに

従来の提携栃木県技術士会が解散し新たに公益社団法人日本技術士会栃木県支部が発足した披露祝賀会が宇都宮ポートホテルにて開催されました。主催の本部からは小林洋一副会長、西村文夫常務が出席され、来賓として福田富一県知事、北村光弘商工会連合会長等 19 名、近県技術士会から 4 名、県内技術士 58 名、計 80 名が参加しました。

2、式次第

西村常務の司会で披露祝賀会が始まりました。

1) 挨拶要旨

(公) 社団法人日本技術士会副会長 小林洋一

地域を熟知している技術士の役割は広い。技術の向上や経済の発展、国際交流の推進などにさらに寄与し栃木県のために今後とも貢献してもらいたい。

(公) 社団法人日本技術士会栃木県支部長 菅井俊郎

技術者相互の英知を結集し世界に通用する栃木ブランドの創出と、自然環境に恵まれた本県の特性を踏まえ、新たな産業創出による雇用の確保に努力したい。

2) 来賓ご祝辞

栃木県知事 福田富一様

建築士を目指した自身の体験を披歴されて、私の DNA は皆さんと近いものがある。本県がものづくり県として発展してゆくためには地域と地域に育てられた技術を守ってゆく必要がある。今後の技術士の活躍に期待する。

ご来賓の方々の紹介

司会者からお一人ひとりのお名前が読み上げられ 23 名の方々が紹介されました。

3) 乾杯

一般社団法人栃木県商工会連合会会長 北村光弘様

冒頭に、昭和 30 年代の経済指標を紹介され今日と比較され技術の進展に伴い、地域経済の発展がなされたことを数値でもって紹介され、これからの技術士会の一層の発展を祈願され、乾杯のご発声をいただき

ました。

4) 祝電の紹介

佐藤栄一宇都宮市長はじめ多数の方々から祝電をいただきました。また、中国からは浙江省科技厅国際合作処曾梵所長、对外科学技術交流中心王一騎主任、張要武副主任からのお祝いメッセージをいただき披露されました。

3、歓談

日頃大変お世話になっていて、当会の活動を支援いただいているご来賓方々と技術士の歓談が行われました。栃木県産業労働観光部工業振興課、国際課、県産業振興センター、県産業技術センター、宇都宮商工会議所、商工連合会、中央会等 3 団体、関連協会団体、宇都宮大学、中小企業診断協会、企業(菊池歯車、GKN ドライブライン)、13 の当会協賛企業団体などの代表や幹部の皆様と熱心に交流がなされ、意見交換され新組織への移行のお祝いと、今後の活躍発展への期待のお言葉をいただきました。

4、中締め

今回の栃木県支部発足に際して、大変お世話をいただいた前提携栃木県技術士会長 田仲喜一郎の挨拶とともに力強い手拍子で披露祝賀会の中締めがなされました。

5、終わりに

司会をされた本部西村常務より本祝賀会の終了が宣言されました。

(文責 柳瀬宣義)

